



石川けんじ

ニュースレター

第71号(改題79号)

社民党仙台市議団版

〒980-8671 仙台市青葉区国分町3-7-1
電話 022-214-8717(直)
FAX 022-711-3453

「コールセンター整備」「錦ヶ丘中学校に防災対応型太陽光発電システム設置」など15議案を審査

＝ 第2回定例会概要報告 ＝

現市議の任期最後の定例会市議会が6月24日閉会しました。

今議会には、一般会計補正予算1,600万円余と、条例改正案など15件(議員提案1件含む)の議案を審査し、いずれも原案どおり可決しました。

一般会計補正予算では、今年4月に新設した錦ヶ丘中学校に防災対応型太陽光発電システムを設置する費用を計上した一方、市が街路灯の電力契約を解除し忘れたなどの問題に関連して街灯電気料の減額が行われたため、少額補正となりました。

また、市民の問い合わせ等を一元的に受付ける「コールセンター」等の整備を進めることとなります。

軽自動車税率の軽減や放課後児童支援員の研修に関する条例改正

環境性能に配慮した軽自動車の税率を軽減するための条例改正の他、放課後児童支援員の研修を本市も行うための改正案が提案されました。

また、地方税法の改正により、市税である法人市民税を国税の地方法人税に付け替える市税条例改正も行われましたが、交付税措置で補てんされるとはいえ63億円も減収となるなど、市財政運営への影響が懸念されます。

議員提案の『人と猫との共生に関する条例』も可決

全会派が賛同して条例制定の議論を経て、議員提案された条例で、全会一致で可決成立しました。

条例では、市民の理解と協力の下で、市や飼い主、販売業者、獣医師等の責務などを定め、猫の苦手な人も含め、誰もが猫と共生できる社会の実現をめざしています。

辻隆一市議が代表質疑、相沢和紀市議と石川けんじ市議が一般質問

社民党仙台市議団からは、提出議案に対する代表質疑に辻隆一市議(宮城野区)が登壇、市政全般に係る一般質問に相沢和紀市議(若林区)と石川けんじ市議(質疑は2ページに掲載)が立ちました。

詳しくは、仙台市議会ホームページの録画等のほか、社民党宮城県連合ホームページを参照下さい。

源思水

▼これこそ「悪夢」だ!
▼「60台の夫婦が95歳まで生きるには夫婦で2000万円足りないと老後資金不足問題のニュースに国民の多くが衝撃を受けたに違いなし▼政府が「100年安心」と胸を張った年金改革から10数年▼「安心」の前身は国民の老後の暮らしではなく、年金制度だったのか▼年金の受給をへらし、受給年齢も引き上げる見直しが進む▼「政府による国民への裏切り行為ではないか」との声が寄せられた▼挙句の果てに「蓄えを投資で増やせ」とばかりに「自助努力」を求める▼そのリスクは「自己責任」か▼国民生活に責任を持たず、国民を見捨てるような政治はいらない!▼国民のための政治を求め、主権者として今こそ声を上げる時ではないか(いしけん)

詳しくは社民党HP (<http://www.sdp.or.jp/miyagi/>) と
仙台市議会HP (<http://www.gikai.city.sendai.jp/>) をご覧下さい

石川けんじが課題解決に積極的な政策提言

石川けんじは6月18日、本会議で一般質問に立ち、市政課題の解決に向け、積極的に政策や施策の提言を行いました。

児童福祉司の増員と一時保護所の改築検討を明言

児童虐待等の対応に追われ、疲弊する児童相談所の現状を改善するため、他の行政機関や地域と相談業務を分担するなど、連携協力を図ることを提言しました。

また、一時保護所に入所している子どもの人権擁護を観点とした生活や学習等への配慮について質した他、一時保護所の改築や児童相談所の増設を求めました。

これに対し市は、関係機関などとの連携や分担を進めているとした上で、児童福祉司などの専門職の増員や一時保護所の改築を検討する意向を明らかにしました。



地域交通の将来を占う「のりあい・つばめ」の支援策

バスなどの公共交通サービスが十分得られない地域住民の足を確保することが本市の課題となっています。現在、宮城野区燕沢地区で試験運行が行われている乗り合い交通「のりあい・つばめ」への支援策について、視察調査を踏まえ『新型低速電動バス』のレンタルや財政支援の組織立ち上げ、クラウドファンディング、グッズ販売など、安定財源確保策を提案しました。



担当局長は『新型低速電動バス』の利用について調査研究するとし、レンタルを提案した「新型低速電動バス」を提示しました。郡市長は「他の地域への拡大も視野に入れ、試験運行（の支援）に取り組む」と応えました。

公共施設にオープン型宅配ロッカーの設置求める

激増する宅配便の年間取り扱い個数が2017年度42億個を超え（国交省統計）、再配達が社会問題となっており、その解決に向けて業界のみならず利用者や行政の取り組みが広がっています。



石川けんじは、利用者の利便性や公共サービスの向上、ドライバーの労働負担の軽減やCO₂排出量の削減のほか、防犯効果も期待できるとして、バス停がある市役所庁舎などにオープン型宅配ロッカーの設置を求めました。

これに対し藤本副市長は「個人の利益に供する課題もあり、ニーズの把握に努めながら注視していく」と答弁、一方、交通事業管理者は「業界の求めに応じ対応する」考えを示し、答弁の不一致が見られました。

2019年 石川けんじの活動日誌（抜粋）

- | | | | |
|----------|---------------------|---------|---------------------|
| 3月20日（水） | 仙台市都市計画審議会 | 22日（水） | 仙台市・富谷市広域行政協議会総会 |
| 4月13日（土） | タウンミーティング（市政懇談会） | 6月2日（日） | タウンミーティング（市政懇談会） |
| 17日（水） | 防災・減災推進調査特別委員会 | 7日（金） | 仙台市議会第2回定例会開会（～24日） |
| 26日（金） | タウンミーティング（市政懇談会） | 24日（月） | 仙台市議会第2回定例会閉会 |
| | 仙台市・富谷市広域行政協議会常任委員会 | | |
| 5月8日（水） | 社民党仙台市議団他都市視察 | | |
| 15日（水） | タウンミーティング（市政懇談会） | | |

※上記の他、議会関係、各種会議、勉強会、調査・研究、情報収集・提供、地域行事等への参加、市民相談、広報宣伝などを行っています。

実現力で未来創りへ着実な歩み



この4年間（2015年第3回定例会～2019年第2回定例会）、『未来を創る』をスローガンに、本会議で11回、予算および決算等審査特別委員会で延べ14回、その他各委員会等で質疑を重ね、政策を実現してまいりました。

これまで実現した政策や事業のうち、交通系ICカード『イクスカ』は利用が約9割に上り、コミュニティサイクル『ダテバイク』も5万5千人ほどが登録利用するなど、右肩上がりです。

議員提案した『空家等の適切な管理に関する条例』により、初めて行政代執行による解体工事が実施されました。

一昨年には、「孤独な子育て」「孤立する子育て」の現状を変え、みんなで子育てを応援する仕組みを創ろうと提案した『祖父母手帳』が実現しました。

郡和子市長になり、切れ目のない子育て支援、35人以下学級の拡大、普通教室へのエアコン設置、奨学金返還支援制度の導入など、未来を担う子どもたちへの支援が大きく前進しました。

公立保育所の移転建設を、保護者や地域の方々と力を合わせ、現地建て替えに変更させることができました。「これからも子どもたちの元気な声が聞える地域でありたい」という思いが力になりました。

これからも、市民や地域の思いに応えるよう歩んでまいります。

【議会で取り上げた主な項目】

- ◎祖父母手帳の提言
- ◎子どもの貧困対策
- ◎就学援助費の改善
- ◎学校給食アレルギー対応食提供の促進
- ◎化学物質過敏症対策
- ◎図書館行政のあり様
- ◎豪雨災害の対策強化（八乙女中央4丁目雨水排水ポンプ改修）
- ◎総合計画の策定
- ◎空き家の利活用
- ◎地域主体の課題解決・魅力づくり事業
- ◎「市民の足」公共交通政策
- ◎経済成長戦略等経済政策
- ◎地域における子育て支援等
- ◎保育環境の拡充と待機児童の解消策
- ◎放課後児童健全育成事業の拡充
- ◎児童虐待防止策と里親制度の拡充
- ◎教職員の多忙化解消
- ◎原子力防災対策
- ◎仙台リノベーションまちづくり
- ◎郊外居住地域づくり
- ◎東北学院大学泉キャンパス移転への対策
- ◎自転車の安全利用の推進策
- ◎投票事務の改善、若者の投票率向上策

「孫育て」はいいこといっぱい
祖父母が父母の子育てをサポートする「孫育て」は、それぞれの世代にメリットがあります。

孫（子ども）

- 多くの大人から愛情を受けられることができる → 情緒が安定する
- 仲のいい大人がいてくれることができる → 自己肯定感（自分を肯定し、大切にされる気持ち）が育まれる
- 父親とはまた違った価値観に触れることができる → 多角的に考えることができるようになる

祖父母

- いい関係を築き、体力や気力がつく → 老化防止
- 孫を通して、地域の入り口の交流が増える → 地域住民とのつながりができる
- 思い出や教養があり、楽しみや誇りがある → セカンドライフの充実

父母

- 体力的・精神的に疲れが軽減される → 子育て負担の軽減
- 心に余裕が生まれる → 子どもへの好影響
- 仕事ができやすくなる → 子育てと仕事の両立
- 強いつながりの関係が築かれる → よい親子関係

家族全体のメリット
孫を通して味わうことで、日頃かけがえのない時間が増えることができます。

	名前・名前	電話番号・所在地
家族の携帯電話やLINE		
孫の家族情報		
地域の連絡先		
タワシー会社		

こんなときはここに電話を！
孫の急な病状に困ったら

#80000 小児救急電話相談 19:00-24:00
TEL:022-212-9390

※病・症状が急な子どもの病状への相談や、病状を相談したにもかかわらず適切な治療が受けられない場合、相談先に相談してください。相談は無料です。相談は無料です。相談は無料です。

※品や費用が掛かるとしたら

公益財団法人 日本中電協センター
仙台支店 110番 072-727-2499 (3階24時間受付)
宮城支店 110番 022-862-9999 (3階24時間受付)
仙台支店 072-726-9922 (3階24時間受付、サービスによる業務停止時は24時間受付、電話はできません。)

〒980-0001 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台市役所本庁舎3階 仙台市役所本庁舎3階
TEL:022-222-2222

022-222-2222

仙台市

みんなの子育てへ『祖父母手帳』実現

お茶の間懇談会 大募集

これまで、市民生活の様々な場면을テーマにタウンミーティング（市政懇談会）を開いてきました。ご友人同士でも、各種サークルでも、「将来の暮らしはどうなるの?」「地域の問題を解決してほしい」「市議会や議員について知りたい」など、市政や政治について議員の話を聞いてみたいと思ったら、お気軽にご連絡下さい。

直接皆さんとお話する機会を持ちたいと思います。どしどしお申し込み下さい。

【お問い合わせ・お申込み先】 仙台市議会議員 石川けんじ事務所

〒981-3102 泉区向陽台 4-16-11 TEL342-1095 FAX342-1096

お願い

『石川けんじニュースレター』を郵送でお届けしている方につきましては、私の情報不足から、すでにお亡くなりになられた方や転居された方へも送付してしまうなど、ご迷惑をおかけすることもございます。

その際は、ご面倒でも石川けんじ事務所までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

なお、お名前やご住所に誤字等がございましたら、合わせてお知らせいただきますようお願い申し上げます。

石川けんじのホームページ

ホームページアドレス <http://www.ishiken21.com/>
 メールアドレス ishiken@sea.plala.or.jp



お茶の間懇談会申し込みおよびご意見募集

FAX 022 (342) 1096 **メール** ishiken@sea.plala.or.jp

【お茶の間懇談会】 次のとおり申し込みます

希望日時： 第1希望 月 日 () : ~ :
 第2希望 月 日 () : ~ :

開催場所： _____

懇談テーマ： _____

【市政アンケート】

具体的な内容等をご記入下さい

該当する項目を○で囲んで下さい (複数選択可)

- | | |
|----------|----------|
| 震災復興事業 | 農林水産業 |
| 医療・介護・福祉 | 環境・エネルギー |
| 子育て支援 | 文化・スポーツ |
| 教育 | 地域づくり |
| 安全なまち | 市民参画 |
| 地域経済 | 行財政改革 |
| 労働・雇用 | 議会改革 |
| インフラ整備 | その他 () |

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

【お名前】

【ご住所】

【TEL】 ()

【FAX】 ()

【メールアドレス】 @